

区分	総合科学系科目 人間の理解	科目名	心 理 学			教員名	志 賀 令 明		
開講年次	1年次前期	必修 選択	必修	授業形態	講義	単位数	2	時間数	30時間

授業の概要

心理学の基本となる考え方を学び、人間理解を深めることで、将来医療従事者として必要な対人関係能力の基礎を作る。

学習目標

一般目標

- ①情報処理系の担い手としての人間を知る。
- ②欲求・情動体験の主体としての人間を知る。
- ③個人の気質・性格類型とその特徴について知る。
- ④家族の変容と、現代社会での家族像について知る。
- ⑤現代社会と、特有な心の変化について知る。
- ⑥入院患者のストレスについて知る。

行動目標

- ①感覚・知覚・認知の過程とその異常について理解できる。
- ②欲求の種類・欲求不満と防衛機制について説明できる。
- ③気質の3類型とその特徴について説明できる。
- ④家族像の歴史的な変化と、現代社会の家族の特徴を理解できる。
- ⑤現代社会の変化が、「こころ」に対して与えた影響について説明できる。
- ⑥入院患者のストレスについて説明できる。

授業内容（学習項目）

回	項 目	内 容（キーワード等）
1	感覚の心理学	五官の分類・感覚の異常と自我
2	欲求とその分類	一次欲求と二次欲求について
3	一次欲求とその障害 1	肥満と 2 型糖尿病
4	一次欲求とその障害 2	摂食障害
5	二次欲求とその障害 1	安全の欲求とその障害
6	二次欲求とその障害 2	愛情の欲求とその障害
7	二次欲求とその障害 3	所属・承認の欲求とその障害
8	不安とストレスの諸問題	不安の生理心理と不安の三つの表現型
9	人格と気質類型	クレッチマーの人格類型
10	人格と性格類型	性格検査で自分の性格を知る
11	入院患者の心理	入院患者や慢性疾患患者の体験する心理状態
12	近代社会・ポストモダンと文化の変容	1980 年代以降の日本の文化の変化
13	近代社会・ポストモダンと人格障害	1980 年代以降の日本の人格障害像の変化
14	発達とその障害 1	自閉症スペクトラム障害
15	発達とその障害 2	注意欠陥多動性障害など

テキスト

志賀令明、岩崎祥一（編）看護のこころ・患者のこころ 福村出版

参考書

授業内で適宜指示

成績の評価方法

期末試験による

教員から学生へのメッセージ

人間の心のありようは文化社会の変化に伴って変わります。急速な変化を遂げる日本で、人々のこころがどのように変化しているかを一緒に学びましょう。